

# かん字しりとりパズル

( )

下のかん字を入れて、しりとりをかんせいさせましょう。

小さい数字はことばの文字の数をあらわしています。

数字の書かれているマスがことばのはじまりになります。

4	春		秋	3		景	4		画	
2		2	道	4		面	2		車	4
	月	3		金	3		在	3		重
		2	材	算		2	題		下	測
4	日	2		4		人	2		3	機
			問	度	3		2		蒸	4
	年		4	章	2		2		工	3
										議
4			先		4		校			音

文	加	歩	料	定	長	温	問
行	夏	水	録	計	名	用	学
電	題	楽	気	冬	路	品	月
生	色	進	会	所	飛	作	地
体							

# クロスワード

( )

1	2		3		4			5
	6	7		8				
9						10		
		11	12					
		13				14	15	
	16				17			18
19			20	21			22	
23			24					
		25					26	

## たてのカギ

- 2 都会のはんたい。
- 3 習字に必要。半紙と〇〇。
- 4 アルミや鉄の入れ物。〇〇ジュース。
- 5 病気もなく元気な事。
- 7 行き止まり。
- 8 お正月に門の前にかざるのは？
- 9 シネマ……ってなあに？
- 10 細い鉄のぼう。
- 12 かぎのこと。
- 15 晴れでもなく雨でもなく……。
- 16 病気の予防や顔をかくすのに使う。
- 17 物ごとをよく見て調べる。
- 18 地面の下にある水。
- 19 サケの卵。
- 20 その服はあなたにとっても〇〇〇よ。
- 21 小さい子をあずかるよ。

## よこのカギ

- 1 赤い海の魚。焼いても、おさしみでもおいしいよ。
- 4 頭にはえているのは？
- 6 大きくてちょっとすっぱいみかん。
- 9 絵をかく人。
- 10 名前のあとにおしてください。
- 11 10月頃に神社などでおこないます。
- 13 足にびったり。バレエなどでもはいているよ。
- 14 絵や写真を入れてかざります。
- 16 ボールのこと。
- 17 びんぼうの反対。
- 19 すわります。
- 20 この国は？
- 22 国語、算数、社会、〇〇
- 23 一けたのかけ算。
- 24 朝の〇〇〇〇
- 25 ほらあなのこと。
- 26 アサリ、シジミ、サザエ……。

# 漢字クロスワード(6年)

名前( )

□に漢字を入れて、たてと横に熟語を完成させましょう。

(例)

自  
運 自 手  
車

運 公  
 物   
会

深 大  
 水   
魚 場

(自転車、運転手)

新  
 日   
 本 録   
紙 楽

曜   
蒸 時  
 圧

幹   
製  
 質  
 題

右の漢字をマスに入れてクロスワードを完成させましょう。

					計
一		二			
				力	
一			月		
	職				問
			劇		

進	時	算
鳥	質	計
年	退	風
人	磁	題
石	花	形

# 漢字クロスワード2(6年)

名前( )

□に漢字を入れ、たてと横に熟語を完成させましょう。

□	園	□	教	□	書	□	発	□
歩		下		学		聞		店
道		街		忍	□	手	□	
絵	画	□	□	校	卒	□	校	□
日		覧		収	業	学		活
□	録	□	□	学	□	年	会	□

右の漢字をマスに入れてクロスワードを完成させましょう。

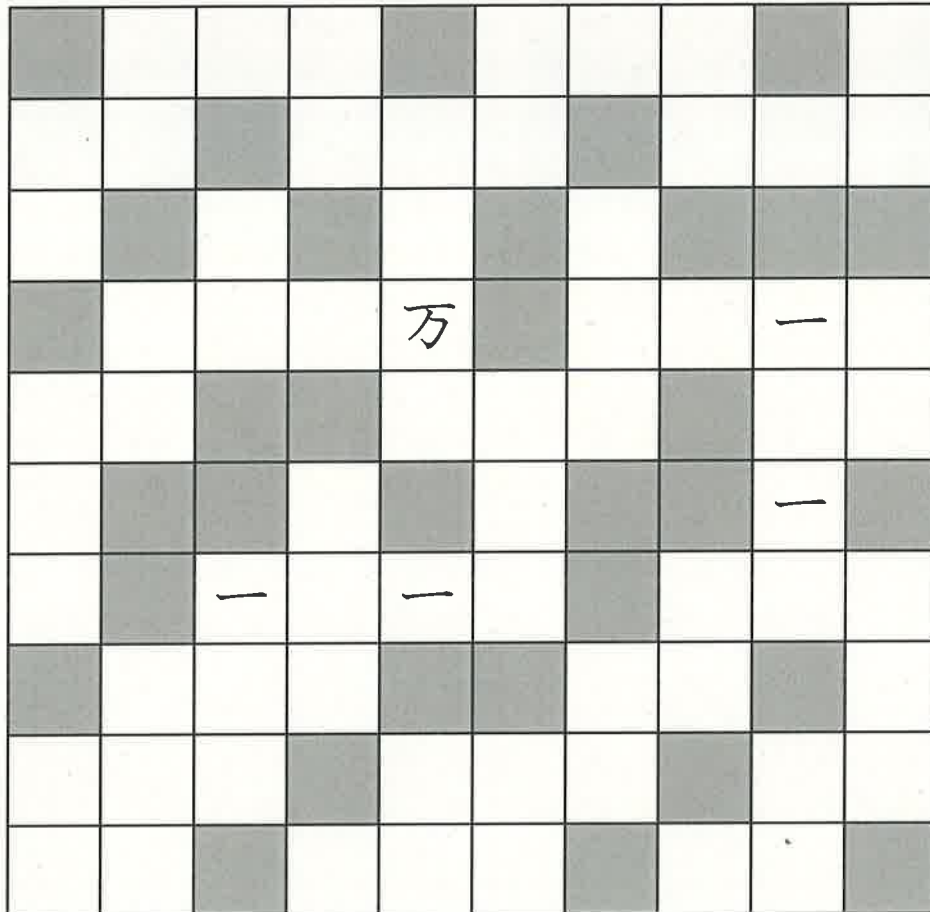
	頭		足			字
野		四		帯		
	気				量	
活				林		算
	植				疑	
		体				

寒	雨	習	山
外	物	動	計
学	題	熱	館
育	温	問	三

# 漢字クロスワード3

名前( )

あてはまる熟語を下から選び、クロスワードを完成させましょう



六角	便利	貯金	会席	洗顔	場所	集会	進学
記者	角度	伝記	集合	全勝	伝聞	不利	優先
新聞	中止	優勝	笑顔	便所	売値		
小心者	学期末	不退転	洗面器	一年生	昨年末		
新発売	六年生	待合席	貯水場	昨年度	集会所		
値千金	学芸会	転居先	所有者	化学者			
一期一会	一進一退	千変万化	笑止千万	心機一転			

(ヒント:最初に四字熟語をあてはめるといいですよ)

# 物の数え方

( )

昔から、物にはそれぞれの数え方があります。  
つぎの物は、いったいどのように数えるのでしょうか。

とうふ 一  二  三

おはし 一  二  三

大きい船 一  二  三

いす 一  二  三

たたみ 一  二  三

仏ぞう 一  二  三

たらこ 一  二  三

たんす 一  二  三

刀 一  二  三

ちょうちん 一  二  三

# いろいろな漢字の読み書き

名前( )

◇ 都道府県名を漢字で書きましょう。(47あるよ)

- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )
- ( ) ( ) ( ) ( )

◇ 体の部分を表す一字の漢字を知っているだけ書きましょう。

◇ 魚の名前を表す一字の漢字を読みましょう。

- 鯛( ) 鯛( ) 鮪( ) 鰹( )
- 鯖( ) 鱒( ) 鱈( ) 鰺( )
- 鱈( ) 鰻( ) 鰻( ) 鮭( )
- 鱒( ) 鯉( ) 鮒( ) 鯰( )

## いろいろな漢字の読み書き(2)

◇ 動物の名前を表す一字の漢字を読みましょう。

(十二支に出てくる動物)

鼠( ) 牛( ) 虎( ) 兔( )  
龍( ) 蛇( ) 馬( ) 羊( )  
猿( ) 鶏( ) 犬( ) 猪( )

(その他の動物)

鹿( ) 豚( ) 猫( ) 狸( )  
狐( ) 熊( ) 象( ) 豹( )

(鳥)

鶴( ) 鳩( ) 雀( ) 鶯( )  
雉( ) 燕( ) 鶯( ) 鷹( )

(昆虫)

蝶( ) 蛾( ) 蜂( ) 蟻( )  
蛭( ) 蚊( ) 蟬( ) 虻( )

◇ 植物の名前を表す一字の漢字を読みましょう。

(木・草)

松( ) 竹( ) 梅( ) 桜( )  
杉( ) 桧( ) 楓( ) 蔦( )

(食べものになっている植物)

米( ) 麦( ) 粟( ) 芋( )  
粟( ) 梨( ) 苺( ) 蕪( )



こんな漢字読めるかな？

名前( )

食べ物の名前

- |         |         |
|---------|---------|
| 饅頭 ( )  | 蒲鉾 ( )  |
| 蒟蒻 ( )  | 蕎麦 ( )  |
| 粽 ( )   | 沢庵 ( )  |
| 豆腐 ( )  | 心太 ( )  |
| 饅頭 ( )  | 天婦羅 ( ) |
| 柏餅 ( )  | 餡子 ( )  |
| 餃子 ( )  | 粕汁 ( )  |
| 蓬団子 ( ) | 珈琲 ( )  |

外国の国名

- |          |         |
|----------|---------|
| 亜米利加 ( ) | 英吉利 ( ) |
| 仏蘭西 ( )  | 独逸 ( )  |
| 西班牙 ( )  | 阿蘭陀 ( ) |
| 伯刺西爾 ( ) | 加奈陀 ( ) |
| 露西亞 ( )  | 印度 ( )  |
| 越南 ( )   | 埃及 ( )  |
| 濠太刺利 ( ) | 土耳其 ( ) |
| 新西蘭 ( )  | 葡萄牙 ( ) |
| 亞爾然丁 ( ) | 墨西哥 ( ) |
| 比律賓 ( )  | 伊太利 ( ) |

なぞなぞ遊び(7)

名前( )

こんななぞなぞ わかるかな？

- ① お父さんがきらいなくだものは何？
- ② 光よりも速く進むのは何？
- ③ 昼間と夜間、お湯をわかすのはどっち？
- ④ 仏像と銅像、すぐけんかをしかけるのはどっち？
- ⑤ カニとエビ、英語はどっち？
- ⑥ おみくじと宝くじ、今日もあるのはどっち？
- ⑦ 美人、鉄人、外国人、一番びんぼうなのはだれ？

# 漢字を読もう 1

六年 名前

翌日に警察署を訪問する

宇宙人の存在を否定できない

背中の中の骨や筋肉が痛い

将軍が天守閣から敵をうかがう

憲法で人権が保障されている

私は国宝の展覧会に行く

幼い子供を呼んで座らせる

絹糸は蚕のまゆから作られる

# 漢字で書こう 1

六年 名前

--

よくじつ に を する



















うちゅうじん の を できない



















せなか の や が いた



















しょうぐん が から を うかがう



















けんぽう で が を さ れ い て る



































わたし は の に く



















おとな い を よ んで す わ ら せ る



































きぬいし は の ま ゆ か ら つ く ら れ る

漢字を読もう 2

六年 名前

頭 の 傷 より 脳 の 病 気 を 疑 う

激 しい 批 判 と 討 論 に 興 奮 する

針 金 を 巻 いて 電 磁 石 を 作 る

賃 金 が 安 くて 若 者 が 困 っている

操 作 を 誤 る と 割 れ る の で 危 険 だ

親 孝 行 で 欲 の ない 誠 実 な 人

誕 生 日 を 盛 大 に 祝 う

お 地 蔵 様 の 姿 を 拝 む

# 漢字で書こう 2

六年 名前

あたま の お手 より のう の びょうき を うたが う

はげ しい ひはん と とうろん に こうぶん する

はりがね を ま いて でんじしゃく を つく る

ちんぎん が やす くて わかもの が こま っている

そうせ を あやま ると わ れるので きけん だ

おやこうこう で よく のない せいじつ な ひと

たんじょうび を せいだい に いわ う

お じぞうせま の すがた を おが む

漢字を読もう 3

六年 名前

俳句の雑誌を二冊並べる

府庁の担当者が承認する

胸には心臓や肺やろっ骨がある

牛乳や砂糖は胃腸に優しい

喜劇俳優が映画を宣伝する

窓から派手な看板が見える

天皇陛下と皇后陛下

桜は温暖な地域の樹木だ

# 漢字で書こう 3

六年 名前

はいく の ざっし を にまつ なら べる

ふちよう の たんとうしゃ が しょうにん する

おね には しんぞう や はい や ろっ ころつ があス

おゆうにゆう や ちどう は いちよう に やせ しい

ぎげき はいゆう が えいが を せんでん する

まど から はで な かんばん が み える

てんのう くいか と けいけい くいか

たくら は おんだん な ちいき の じゅもく だ



漢字を読もう 4

六年 名前

明日の晩に郵便物が届く

縦と横の線が垂直に交わる

三段ロケットの発射をかん視する

腹が立って我を忘れる

秘密のほら穴を探検する

裁判で厳しい処分を決める

尺八は簡単なように見えて難しい

純白の衣装を紅花で染める

# 漢字で書こう 4

六年 名前

あした の ばん に ゆうびんぶつ が とど く

たて と よこ の せん が すいちやく に まじ わる

さんだん ロケットの はっしゃ を かん し する

はら が た って われ を わす れる

ひみつ の ほら あな を たんけん する

ちいばん で きび しい しょぶん を き める

しゃくはち は かんたん なように み えて おずか しい

じゅんぱく の いしよう を べにぼな で そ める

漢字を読もう 5

六年 名前

拡大図の裏に縮小図をかく

改革の推進に力を発揮する

宗教の自由を法律で認める

勤務先に机が納入された

幕府が穀物の値段を決める

棒を使って洗たく物を干す

演奏する曲に歌詞を付ける

自宅で温泉卵を作る

# 漢字で書こう 5

六年 名前

--

かくだいず の うら に しゆくしように をかく


の


に


を

かいかく の すいしん に ちから を はつき する


の


に


を


する

しゆうぎよう の じゆう を ほうりつ で みと める


の


を


で


める

ちんおちち に つくえ のうにゆう された


に


が


された

ばくふ が こくもつ の ねだん を き める


が


の


を


める

ぼう を つか せん もの を は す

--

を

--

つか

--

せん

--

もの

--

を

--

は

--

す

えんそう する ぎよく に かし を つ ける


する

--

に


を

--

ける

じたく で おんせんたまご を つく る


で


を

--

る

漢字を読むもう 6

六年 名前

尊敬する恩人には忠実に従う

地層の下から遺せきが見つかった

政党が政策を一枚にまとめる

沿岸では高潮に備えて俵をつむ

内乱で多くの民衆が死亡した

山の頂上から火山灰が降る

塩素系洗ぎいの蒸気を吸うな

諸国の郷土料理を熟知する

# 漢字で書こう 6

六年 名前

漢字を読もう 7

六年 名前

晩ご飯の ごちそうを   舌で味わう

就職して臨時収入が   増えた

連盟から除外する結論に   至る

計画延期では補助金   が出ない

有名な本の著者が暮らす家

専門店   の閉店寸前の時刻

善悪の判断は自己責任だ

班で教室の片付けを済ませる

# 漢字で書こう 7

六年 名前

ばん          はん  
            
 の   ごちそう   を                                   
した          あじ  
 で          わう

しゅうしよく          りんじ          しゅうにゅう  
                                                    
 して          が                      
ふ  
 えた

れんめい          じょがい          けつろん  
                                
 から          する          に                      
いた  
 る

けいかく          えんき          ほじよきん  
                                                    
 では          が                      
で  
 ない

ゆうめい          ほん          ちよしや  
                                
 な          の          が                                          
く          いえ  
 らす

せんもんてん          へいてん          すんぜん          じこく  
                                                    
 の          の          の

ぜんあく          はんだん          じこ          せきにん  
                                                    
 の          は          だ  
だ

はん          きょうしつ          かたづ          す  
                                
 で          の          けを                                
ませる



漢字を読もう 8

六年 名前

鋼鉄製の船の模型

捨てなければ貴重な資源になる

仁義なき戦いという映画の券

言い訳をすると誤解されやすい

聖火のもとに異国の人が集う

私が創作童話を朗読する

株式会社を退職した従業員

銀行は客から金銭を預かる

漢字で書こう 8

六年 名前

[Name box]

こうつせい の ふね の もけい

す てなければ きちょう な しげん になる

じんぎ たたか なき い という えいが の けん

い い わけ をすると りから ちれやすい

せいか のもとに いこく の ひと が つど う

わたし が そうざく どうわ を ろうどく する

かぶしきがいしゃ を たいしよく した じゅうぎょういん

ぎんこう は きやく から きんせん を おず かる

6年生までに習う漢字

(1年)

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	月	日	水	見	早
出	右	左	小	白	中	休	学	校	氣	生	先	石	下	上
大	山	人	木	口	土	花	王	玉	百	千	子	字	文	犬
入	名	年	車	貝	本	虫	火	金	手	足	立	川	力	天
町	青	田	男	音	耳	村	竹	女	系	目	雨	夕	空	赤
円	草	森	林	正										

(2年)

場	読	紙	言	通	食	後	前	自	分	谷	毎	太	色	時
明	秋	方	顔	話	書	行	線	引	間	夏	夜	光	強	弱
回	数	活	肉	長	作	週	羽	黄	黒	地	絵	弓	切	工
道	知	友	何	声	聞	考	外	走	母	歩	会	帰	教	半
心	形	交	魚	刀	鳥	馬	矢	門	戸	朝	午	買	元	番
少	頭	弟	内	今	遠	来	曜	当	丸	点	鳴	海	高	新
同	国	合	語	楽	野	原	風	船	細	用	画	台	家	親
父	兄	姉	妹	角	東	南	北	西	組	池	岩	多	科	電
凶	思	売	市	店	雪	体	米	近	歌	止	里	京	晴	万
古	社	寺	雲	牛	才	冬	星	計	直	茶	汽	記	室	麦
広	毛	算	公	園	春	理	昼	首	答					

(3年)

着消暗問銀球州次由皿坂待第  
開使服館氷柱予倍流皮医安登  
葉守式落持放宮油庫波齒福豆  
所身者筆究族代品客港轉都泳  
度役路投研乘有藥拾湯祭幸短  
返動表酒癸配真級植湖神向送  
綠樣整農想去寫温根主鼻洋鼎  
急取局漢勝勉詩暑板反追仕業  
畑事味等始院宿住指集死打礼  
遊箱区輕習題具起昔受屋階終  
病意童悲練調愚列界全兩庭談美  
負部運助苦丁申實世進昭君期旅  
橋相注馭定息速飲化員陽他重岸  
物章号島橫曲秒和羊委命寒对深  
面鉄決荷感平央炭商係笛血育帳

(4年)

要仲清未景別  
建然浴愛児料  
養塩札牧管参  
榮浅材側節量  
鏡議利付産熱  
選不貨完課周  
燒底束関的勞  
照果府例説博  
灯察孫順結共  
笑觀副治争失  
辺驗徑害願協  
席類郡便続季  
飛種英成変臣  
達必陸街包散  
信約標最祝積

初無倉戰功媛井  
飯候改兵敗城繩  
借兆低軍夫茨冲  
典令差滿老卒鹿  
辞昨械欠静器賀  
省康機好民極滋  
競健冷漁念億埼  
各試巢勇芸官崎  
松勸芽衣望隊佐富  
旗法氏折希拳香德  
梅佖唱菜努刷熊群  
帶以单泣求印阜阪  
訓覺司輪案位岐梨  
末加殘固徒票瀉奈  
録置給連良特岡枋

(5年)

益貿証規查情準境舍压寄殺  
營河豐因居績貸往暴接額告  
經復能耕狀銅团旧義興総航賞  
際複可提略則支妻枝条忒型史  
防述素燃報測効永序件精救歴  
質構破適雜故常非像統絶喜脈  
価貧製務資仏確罪酸句快紀粉  
採損幹厚示稅余犯潔墓慣困費  
断在性刊液武判禁増属眼勢毒  
比任独均評政職婦檢鉞造導得  
弁責張織演築衛災險綿肥領堂  
授現容賛迷財久編技修態謝停  
許制護再率祖逆個招志留解貯  
過格保仮輸術桜減師夢基識象  
飼設易程移限似備講混版布士

(6年)

訪絹冊敬姿熟值訊片砂乱聖  
縱蚕穀危割裏宅優秘難沿裁  
垂磁至盛批就視善激創班尺  
洗座賃誌署操除乳腹吸策骨  
射呼藏宙諸幕映收派抃処肺預  
胸枚盟宇寸模届源看系装后俵  
針將片誠翌傷討暖窓樹域宣敵  
卷孝頂欲担誤純認暮忠著劇退  
奮論存否並段亡刻染納貴己錢  
警補紅痛拜穴臨濟律棒遺郵舌  
幼展閣困宝朗揮机縮鋼党捨承  
簡從降若鄉潮革憲衆宗奏勤券  
探筋詞推覽異延障密我干陞恩  
背株泉閉尊誕專權巖忘卯皇腸  
供疑腦私仁臟俳晚糖層蒸灰胃

ことわざの資料

あおな しお 青菜に塩	青い野菜に塩をかけるとしおれるように、元気がなくなった様子
あき ひ お 秋の日はつるべ落とし	井戸のつるべは落ちる時は早いように、秋の日は夕方になるとすぐに暗くなること
あめ ふ じかた 雨降って地固まる	雨の後に地面が固まるように、もめごとの後にかえって事がうまく運ぶようになること
いしばし わた 石橋をたたいて渡る	石の橋がこわれなからたたいてから渡るように、用心の上にも用心をかさねること
いし うえ さんねん 石の上にも三年	何事も根気よく続ければ成果が得られること
いぬ ある ぼう あ 犬も歩けば棒に当たる	犬がうろろしている棒でたたかれることから、歩いているうちに思いがけないことに出会うこと
い なか かわず たいかい し 井の中の蛙 大海を知らず	井戸の中のカエルのように、広い世界や知識を知らないこと
えびで たい っ えびで鯛を釣る	小さなえびで鯛を釣るように、小さな元手で大きな利益を得ること
おぼれるものはわらをもつかむ	おぼれている人は、わらのようなたよりない物にでもつかまろうとするように、こまったときはどんなものにも頼ろうとすること
おに い ま せんたく 鬼の居ぬ間の洗濯	こわい人がいない間に、のんびりと楽しむこと
かべ みみ しょうじ め 壁に耳あり障子に目あり	どこでだれが見ているかわからないように、秘密はもれやすいこと
くさっても たい くさっても鯛	鯛のような立派な魚は、たとえくさっても価値があるように、優れた者はどんなに落ちぶれてもすたれることはないということ
けんか りょうせいばい けんか両成敗	けんかをした人は両方を罰するということ
せんどうおお ふね やま のぼ 船頭多くて 船、山に登る	指図をする人が多いとものごとがはかどらず、違った方向にそれてしまうこと
たで ぐむし す ず たで食う虫も好き好き	タデのようにからい草を食べる虫もいるように、人の好みは様々であること
たな 棚からぼたもち	思いがけない幸運がまいこぶこと
どんぐりの せいくら 背比べ	似たり寄ったりで、たいして違いがないこと
した なか れいぎ 親しき仲にも礼儀あり	親しい人との間でも礼儀を守らないと気を悪くすることがある
しゅ まじ あか 朱に交われば赤くなる	付き合う人の良し悪しに影響されること
し ほとけ 知らぬが仏	知っていれば腹が立つことも、知らないでいると仏のようにおだやかな気持ちでいられるものだということ
す みやこ 住めば都	住み慣れた所はどんな所でも住みやすくなるということ



そな 備えあれば <small>うれ</small> 憂いなし	前もってきちんと準備をしておけば、あとで心配することがないということ
つき 月とすっぽん	比べ物にならないほど違うことのとえ
とき かね 時は金なり	時間はお金と同じように貴重なものだから、時間を無駄にせずはげむようにすることが大切である
な 泣き <small>つら</small> 面に <small>はち</small> 蜂	不運の上に不運が重なること
かい 二階から <small>めぐすり</small> 目薬	二階から目薬をさすように、効果がないことのとえ
ねこ 猫に <small>こばん</small> 小判、 <small>ぶた</small> 豚に <small>しんじゆ</small> 真珠	値打がわからず、やってもむだなことのとえ
のう 能あるタカは <small>つめ</small> 爪をかくす	実力のある人はむやみに能力を自慢しないということ
はっほうびじん 八方美人	誰に対してもいい顔をしようとする人のこと
むかし 昔とった <small>きねづか</small> 杵柄	昔きたえておいたことは、今でもうまうまできるといこと
むり 無理が <small>とお</small> 通れば <small>どうり</small> 道理が <small>ひ</small> 引 <small>こ</small> 込 <small>む</small>	道理にはずれたことが通ってしまえば、道理にかなったことが行われなくなるということ
め 目からうろこが <small>お</small> 落ちる	よくわからなかったことが、はっきりとわかるようになること
りっすい 立錐の <small>よち</small> 余地もない	とがった錐(きり)の先も入らないほどつまっている様子
りょうやく 良薬は <small>くち</small> 口に <small>にが</small> 苦し	よくきく薬は苦いように、ためになる忠告は自分の弱点を言い当てて聞くのがつらいものだ
るい 類は <small>とも</small> 友を <small>よ</small> 呼ぶ	気のあった者や仲の良い者は自然と集まってくるものだということ
るり 瑠璃も <small>はり</small> 玻璃も <small>て</small> 照らせば <small>ひか</small> 光る	瑠璃(るり)や玻璃(はり)といった宝石は光に照らされれば輝くように、能力のある人はどこにいても目立つし、機会があれば力を発揮するものだということ
わざわい 転じて <small>てん</small> 福 <small>ふく</small> となす	不幸な出来事が幸福のきっかけとなること



熟語資料

(数に関係する漢字が入る熟語)

いちちよういっせき 一朝一夕	ひとあさ、ひとばんというわずかな時間 わずかな時間では物事は達成できないこと
いっしんいったい 一進一退	すすんだりしりぞいたりすること 物事が良くなったり悪くなったりすること
いちちよういったん 一長一短	ものごとよめんわるめん 物事には良い面も悪い面もあること
いっきいちゆう 一喜一憂	まわりの状況に振り回され、ちょっとした変化で喜んだり不安になったりすること
いちごいちえ 一期一会	いっしょういちど 一生に一度だけの機会
いっせきにちよう 一石二鳥	ひとことして、ふたりのえきえ 一つの事をして、二つの利益を得ること
さんかんしおん 三寒四温	さむひみっかつつあたたひよっか 寒い日が三日続くと暖かい日が四日くらい続くと、だんだん暖かくなること
ちようさんぼし 朝三暮四	めさきちが 目先の違いにとらわれて、同じ結果になることが理解できないこと
さんさんごご 三三五五	ひともの 人や物があちこちにちらばること
ごりむちゆう 五里霧中	ものごとようすて 物事の様子や手がかりがつかめず、方針や見込みが立たなくてこまること
しちてんはつき 七転八起	なんどしっばい 何度失敗してもくじけずに立ち直って努力をすること
じゆうにんといろ 十人十色	かんがかたこのせいしつひと 考え方や好み、性質などは人によってそれぞれに異なること
ごじゅっぽひゃっぽ 五十歩百歩	おおちが 大きな違いはないこと
せんさばんべつ 千差万別	どんなことでも、ものでもそれぞれにちがいがあり、一つとして同じものではないこと
ひゃっばつひやくちゆう 百発百中	はなや 放った矢がすべて命中するように、計画や予想がすべて当たること
うみせんやません 海千山千	ながねんげつさまざまけいけん 長い年月様々な経験をつんで、世の中の裏も表も知りつくした、したたかな人
しょうしせんばん 笑止千万	ひじょう 非常にばかばかしいこと たいそうきのどく たいそう気の毒なこと
しんきいつてん 心機一転	なに 何かをきっかけにして、気持ちがすっかり変わること

ついでに かんじ はい じゆくご  
 (対になる漢字が入る熟語)

くうぜんぜつご 空前絶後	これまでにもこれからも例がないような、非常にめずらしいこと
しんしょうぼうだい 針小棒大	小さいな物事をおおげさに言うこと
てんべんちい 天変地異	天や地でおこる災害や大きな異常気象などのこと
いくどうおん 異口同音	多くの人が口をそろえて同じことを言うこと      みんなの意見が一致すること
ずかんそくねつ 頭寒足熱	頭部を冷たくし、足を温めること
きしかいせい 起死回生	危機的な状況を、一気に良い方向に立て直すこと
せいこううどく 晴耕雨読	世の中のわずらわしいことから離れて、心おだやかに暮らすこと
ゆうがいむえき 有害無益	害があっても益がないこと      得るものがなく失うばかりであること
うおうさおう 右往左往	混乱してうるたえる様子
じゃくにくきょうしよく 弱肉強食	弱いものが強い者のえじきになること
りゅうとうだび 竜頭蛇尾	初めは勢いがよいけれど、終りには勢いがなくなること

た  
 (その他)

かちょうふうげつ 花鳥風月	うつくしげんふうけい 美しい自然の風景
やうとうくにく 羊頭狗肉	み 見かけはりっぱだが、中身が粗悪でつまらないこと
たいざんめいどう 大山鳴動	おおさわ 大騒ぎをすること (たいざんめいどう      いっぴき おおさわ      わり      けっか 大山鳴動してネズミ一匹:大騒ぎをした割に結果がつまらないこと)

